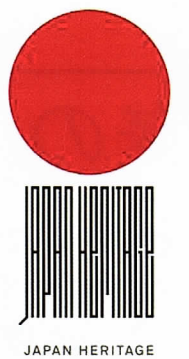




～あふれ出る湧き水と瑠璃色の水辺の町へ

針江・霜降



JAPAN HERITAGE

日本遺産

はりっしも
Harisshimo vol.5 2017.3

針江・霜降の水辺景観まちづくり協議会

湧人小
きとき
水自な
と然町
川をに
がつな
ぐある

Message

針江・霜降地域は、国の「日本遺産」・「重要文化的景観」の選定を受けています。

針江・霜降地域には、水辺景観のまちづくりにご協力いただいている方や、この地域の貴重な財産をぜひ知っていただきたい方々に紹介されている方々がおられます。今回は、最近ちよくちよく見かけるなあ！という方の中から、お二人にそれぞれの専門の立場からご寄稿いただきました。ここに暮らす私たち以上にカバタ文化の重要性や稀少性をご存じなのではないでしょうか。

はりっしも探索

海外の方々に「かばた」文化を紹介されている
悠ツアーの森さんより！

■海外の方を連れて、「かばた見学」によく伺います。海外の方が興味を持たれるのは、湧き水の美しさや鯉が泳ぐ水路だけではありません。自然の恵みをただ使うのではなく、その仕組みを知り、守り、次の人に引き継ぐための様々な「哲学」と「知恵」に、多くの方が関心を示されます。水道が家の中にあるのに、なぜかばたを使い続けたいと思うのか。なぜ使い続けることが可能なのか。その答えの土台にある哲学と知恵を知ることで、美しい湧き水や多くの生き物を見たときの驚きが、さらに一段階深い感動に変わるようです。海外の方には、針江・霜降の皆さんが、水のことを知り尽くした「水の哲人」に見えているのかもしれませんが、かばた文化は、日本の、滋賀の、ここでしか見られない「特殊」なものです。自然と人間の関わり方について、世界の人々の心に届く「普遍的」なメッセージを持っています。地元の皆さんと訪問者がともに楽しみながらそのメッセージを共有する、そんな場面がこれからもたくさん見られることを願っています。

森 聖太(悠ツアー代表、通訳案内士)



ただいま、かばたを調査中！

重要文化的景観(建造物)でお世話になっている 滋賀県立大学の石川先生より！

■文化的景観の調査でお邪魔させていただくことになって、はや10年が経ちます。現在もカバタの実測調査は続けていますが、湧水を活かした生活が今も営まれ、家ごとの個性を垣間見ることが出来るカバタは、針江・霜降の文化的景観を象徴する存在だと改めて思います。一方、今年度は、地区内に多く見られる焼板壁を使った瓦葺民家を3棟調査させていただく機会がありましたが、この地域の伝統的な茅葺民家の間取りとほとんど同じ、つまり、外観は変化しているが中身は伝統を継承している民家が存在していると気づかされました。このような瓦葺民家もカバタ同様に守っていく必要があるかもしれません。

このように、針江・霜降にはまだ地域の宝が眠っていると思われませんが、今後もそのような宝を発見するお手伝いができたらと思っています。

滋賀県立大学人間文化学部・准教授 石川 慎治

●石川慎治さん プロフィール

島根県生まれ。博士(工学)。専門は建築史・保存修景計画。滋賀県内にある伝統的な民家・集落の研究に取り組みながら、地域の文化遺産活用の試みも進めている。高島市重要文化的景観整備活用委員会委員。



●森 聖太さん プロフィール

外国人個人旅行者向けに、滋賀を舞台とした英語ツアーを実施。ツアーでは、地元の人との交流や、地域の何気ない暮らしの体験に重点を置いている。神戸大学大学院人間発達環境学研究科教育研究補佐員、通訳案内士、総合旅行業務取扱管理者。大津市在住。

